

市立豊中病院運営計画(平成30年度～平成34年度)素案の概要

★運営計画：計画期間中の当院の基本目標と、その基本目標を達成するために取り組むべき事項を定めるもの

1. 計画策定趣旨

計画趣旨 昨今の医療環境の変化や現状の課題を踏まえ、引き続き地域中核病院の使命を果たすため、新たな5年間の取組み・目標を定めるもの

基本目標 『良質な医療の提供と安定した経営を図るため、総合力を活かした急性期医療の向上とともに、地域力に根ざした医療連携を一層強化します』

2. 当院をめぐる医療等の情勢

- 医療政策等の動向
 - [国の政策]医療需要増大。医療費(診療報酬等)の抑制。医療機能の分化・連携を促進
 - [保健医療計画]5疾病・4事業及び在宅医療への対応
 - [豊中市]地域医療の推進(地域医療提供体制・在宅医療)、地域包括ケアシステムの推進
 - 現在の本市在住者の当院への受診動向
 - [入院]…11%が当院へ入院。がん等の新生物、呼吸器系及び消化器系疾患が多い
 - [外来]…3.2%が当院へ受診。新生物、循環器系及び消化器系疾患が多い
 - 将来の疾患別患者推計(豊能二次医療圏)
 - [患者]老年人口の増加に伴い、患者数は入院・外来ともに増加する見込み
 - [疾患]入院は循環器系、呼吸器系、損傷・中毒等の疾患が特に増加見込み
 - 外来は循環器系、消化器系、筋骨格系及び結合組織の疾患が特に増加見込み
 - 医療提供体制の方向性(地域医療構想 豊能二次医療圏)
 - [必要病床]高度急性期はやや減少、急性期は同程度必要、回復期・慢性期は不足
- ▶急性期病院としての役割を果たすとともに、医療需要の増加・変化に対応するため、地域の医療機関との連携の強化を図り、地域医療の充実に貢献することが求められる

3. 当院の運営状況

診療実績(28年度)	[入院] 519人/日 新規15,056人 在院11.6日 単価58,024円 [外来] 1,199人/日 初診32,603人 通院 8.9日 単価16,918円 ▶ 在院日数は短縮の一方、新規患者は増加せず	【課題】 ▶救急診療体制の確保 ▶医療スタッフの確保、負担軽減 ▶入院診療単価のアップ
地域連携	受診の迅速な受入れ、「あんしんルート」事業、退院支援を強化	【発展】 ▶手術室、集中治療室等の効率運用 ▶がん診療、相談支援の充実 ▶地域連携(紹介・逆紹介)の強化
保健医療計画への対応	[救急]年間2万人の救急診療を実施、平均5,500件の救急搬送受入れ。救急科医不足に全診療科応援体制で対応 [がん]総合的ながん診療・チーム医療体制を構築。がん相談、退院支援など相談体制を充実 [周産期]24時間体制。ハイリスク分娩の積極的な受入れ	▶機能分化・連携の推進(リハビリ・転退院支援) ▶情報の共有化、システムの整備
地域中核病院の役割	[機能]集中治療室、高度設備など多くの医療資源を保有し、高度急性期・急性期医療への期待に応える [手術]年間5,500件以上の手術を実施 [連携]リハビリの充実・早期実施により退院・転院を支援	
運営体制	[人員]医師数は概ね確保(救急科・麻酔科医不足)。常勤看護師は定数確保が課題 [組織]運営会議、各種委員会、プロジェクトチーム等を組織	
財務状況(28年度)	[収益性]28年度は新規患者の減少等により4.3億円の赤字 [健全性]流動比率、資金剰余額はともに健全	

4. 今後の方向性と取組計画

- [視点]医療政策等の動向、当院のこれまでの実績や将来性を踏まえた医療機能の提供、市民や利用者の期待・信頼される医療の提供
- [方向性]現状の課題と今後の医療環境の大きな変化を踏まえ、計画的かつ柔軟に、今後取り組むべき対応策・方向性を広く示す
- [実施]「実施計画」において、個別活動プランと目標を設定し、本運営計画を推進

【取組計画】

(1) 医療機能と質の向上	(2) 地域医療連携の推進
①診療機能の向上 救急診療体制の確保、手術室・集中治療室等の効率的運用、拡充の検討	①病病・病診連携の強化 病院病連携・病診連携の強化
②がん診療の充実 がん医療提供体制の充実	②医療・介護との連携の強化 退院支援、在宅医療支援の拡充
③スタッフの充実 医療スタッフ、事務系専門職の充実	③医療情報の連携 患者の医療情報の共有化(医療連携ネットワークシステムの構築)
④医療の安全・安心の向上 医療安全対策及び院内感染防止対策の徹底、大規模災害対策	
(3) 患者サービスの向上、職員の働き方の改善	(4) 業務の効率化と経営基盤の確立
①患者サービスの向上 患者満足度調査に基づく改善、待ち時間の短縮、相談窓口等の改善の検討	①収益の確保 新規患者の拡大、診療単価の向上、診療報酬の適正な算定
②地域への積極的な情報の発信 広報機能の強化、公開講座の開催	②適切な費用管理 費用の抑制、高額医療機器の計画的な運用・管理、施設の計画的な維持・管理
③職員のモチベーションの向上 研修受講及び資格取得の促進	③情報化の推進 情報システムの計画的な導入及び更新、診療記録の適正な管理
④働き方にかかる意識改革 業務負担の軽減、時間外労働の縮減、ハラスメントやメンタルヘルスへの対応	④職員の経営意識の醸成 経営情報の共有化の推進

【基本目標】

指標	34年度目標	指標	34年度目標	指標	34年度目標
入院診療単価	63,000円	病床利用率	90%	逆紹介率	80%
外来診療単価	16,000円	救急車搬送受入数	6,300人	入院・外来患者満足度調査	前年度の結果を上回る
新規入院患者数	16,300人	救急からの入院患者数	5,000人		
平均在院日数	11日以内	紹介率	80%	経常収支比率	100%以上